

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



2023-24年度 RI会長／ゴードンR.マッキナリー
RI.D2590ガバナー／樋口 明
横浜旭RC会長／田川 富男



ウクライナ避難民支援



ポリオ撲滅運動
バキスタンにて

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
<http://yokohamaasahirc.cho88.com>
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp
例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日／12時30分～1時30分

2023年11月1日 第2524回例会 VOL.55 No.13

■司会 SAA 北澤 正浩

■開会点鐘 会長 田川 富男

■出席報告

会員数	18名	本日の出席数	12名
本日の出席率	66.67%	修正出席率	83.33%

■本日の欠席者 宋、中谷、二宮、佐藤（勉）、関口、岡田

■オンライン出席者 福村

■他クラブ出席者 新川（地区）

■ビジター 峯岸博之様（地区R財団資金推進委員会副委員長・横浜磯子RC）

■ゲスト 宋 潤坤様（米山奨学生）

■斉唱／我等の生業

■誕生日祝い



安藤会員 11.4

佐藤（勉）会員 11.18

■会長報告 田川 富男

天高く馬肥ゆる秋となりました。朝晩の冷え込みがあり、冬の感もします。

言うまでもなく、例会場も一新されました。場所的には以前の例会の所ですが、名称も変わりジョイナステラス3コミュニティサロンとなりました。

そして、岡田会員には長い間、会議室を使用させて頂きましてありがとうございました。

今日の財団フォーラムに合せて峯岸博之財団資金推進副委員長さまには、例会にお運び頂きまして誠にありがとうございます。後ほど財団卓話をお願い致します。

今月の予定として11日(土)11:30地区大会パシフィコ横浜会議センターにて全会員の参加をお願い致します。(メーキャップで移動例会扱いになります)。

15日(木)11時に当クラブ名誉会員であられた高梨会員のお別れ会がホテルニューグランドで執り行われます。有志の方の参加のことお願いします。

■例会臨時変更のお知らせ

○横浜瀬谷ロータリークラブ

11月10日(金)→11日(土)地区大会

11月17日(金) 通常例会

11月24日(金) 移動例会

「フェリス女学院大学見学」

○横浜南ロータリークラブ

12月9日(土) 休会

12月23日(土)→24日(日)クリスマス家族会

12月30日・1月6日 休会

○横浜保土ヶ谷ロータリークラブ

11月20日(月) 休会

■ニコニコBOX

峯岸博之様 (地区R財団資金推進委員会副委員長・横浜磯子RC)

／本日はお世話になります。

安藤 公一／①峯岸様ようこそお出頂き、あした。卓話宜しくお願い致します。②誕生日祝いありがとうございます。③新例会場での初例会を祝して。③宋さん2ヶ月ぶりですね。リフレッシュしたものと思います。博士号に向けて頑張れ!

新川 尚／峯岸地区R財団資金推進委員会副委員長、本日は卓話宜しく申し上げます。

田川 富男／①峯岸地区R財団資金推進委員会副委員長様本日の卓話宜しく申し上げます②あ新しくなった例会場まだまだ勝手が分かりませんが、気持も新たに利用しましょう。

市川 慎二／峯岸様、R財団フォーラム宜しくお願い致します。

北澤 正浩／峯岸様、R財団フォーラム宜しくお願い致します。

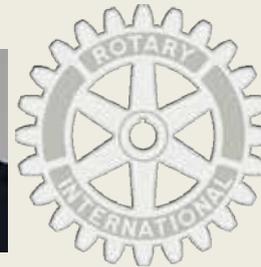
五十嵐 正／①地区R財団、峯岸様。本日の卓話宜しくお願い致します。②新しい例会場、まだなんとなく落ち着きません。

佐藤 真吾／①地区R財団資金推進委員会副委員長、峯岸博之様、本日はお忙しい所、当クラブ例会にお越し下さり有り難うございます。卓話宜しく申し上げます。②米山奨学生宋さんようこそ。

佐藤 利明／峯岸博之様、お忙しい中、卓話をお願いしまして、宜しく申し上げます。



ロータリー財団



RID2590 R財団 資金推進委員会 峯岸博之

■卓話／ロータリー財団フォーラム

地区R財団資金推進委員会 峯岸 博之様

▷ロータリーとは

ロータリーとはどのような団体なのでしょう

「人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業および専門職務に携わる指導者が世界的に結びあった団体」です。

▷国際ロータリーの使命

職業人と地域社会のリーダーとのネットワークを通じて、人々に奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進すること。

▷国際ロータリーの目的

※ロータリーの目的を推進するようなプログラムや活動を追求しているクラブ、ローターアクトクラブ、RI地区を支援すること。

※全世界にわたって、ロータリーを奨励し、助長し、拡大し、管理すること。

※RIの活動を調整し、全般的にこれを指導すること。

▷ロータリー財団の定義

※ロータリークラブおよび地区を通じて実施される承認された人道的および教育的活動の支援のために寄付を受け付け、資金を分配する非営利団体。

▷ロータリー財団の使命

※ロータリアンが、健康状態を改善し、教育へ



の支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和、を達成できるようにすること。

「標語」世界でよいことをしよう。

Doing good in the world

▷ロータリー財団 正式名称

国際ロータリーのロータリー財団

The Rotary Foundation of Rotary International

▷国際ロータリーとロータリー財団の違い

- 「世界でよいことをするために」という提案を元に生まれたロータリー財団は皆様の寄付を原資として種々の人道的・教育的奉仕活動を行う団体です。

- 慈善事業として寄付者もその管理機構の税制の優遇を受けられるので通常のビジネスとは異なる管理体制と監査機構を持つ必要性から国際ロータリーとは別の組織として運営されています。

- ロータリー財団 (TRF) の法人会員は国際ロータリー (RI) のみということから国際ロータリーのロータリー財団と呼ばれています。

- そして理念、実践の目的は一体化されており、ONE ROTARY と称されています。

▷国際ロータリー 理事会

- 理事

- 会長、会長エレクト、事務総長、以下、ロータリー国際大会で選出される 17 名

- 理事は、4 年おきにゾーン内のクラブ会員から 1 名指名され任期は、2 年間。

▷ロータリー財団 管理委員会

- 管理委員会は、元 RI 会長を含めた 15 名と RI 事務総長の 16 名で構成をされ任期は、4 年。

▷国際ロータリーのロータリー財団

1905 年 / シカゴ ロータリークラブ創設 (4 名)

1910 年 / 全米 RC 連合会

1912 年 / 国際ロータリー組織化

1917 年 / **基金設立** (第 6 代アーチ・クランフ RI 会長)

1928 年 / ロータリー財団と命名 1931 年に信託組織

1947 年 / **<奨学金プログラム開始>**

1965 年 / 同額補助金、MG、GSE プログラム開始

1978 年 / 3-H プログラム ⇒ ポリオプラスに発展

1983 年 / イリノイ州法のもとに非営利財団法人

1992 年 / シェア・システム

1994 年 / 恒久基金

2000 年 / 財団の使命改訂財団

= 国際奉仕 → + 地域社会奉仕

2002 年 / 世界平和奨学金開始

2003 年 / 地区補助金プログラム開始

2007 年 / ポリオプラスを最優先する決定

ビル & メリンダ・ゲイツ財団がロータリーに対して 1 億ドルのチャレンジ補助金を授与

2009 年 / ゲイツ財団がポリオ撲滅活動のために更に 2 億 5,500 万ドルをロータリーに授与。前述のチャレンジを 2 億ドルに引き上げ、ロータリーが集めた資金 1 ドル毎に 3 ドル 55 セントが上乘せされることとなった。飲料水や衛生施設・環境の改善のためロータリーと USAID が協同で「国際 H₂O 協力」を発足。

2010 年 / 3 年間にわたり 100 地区が新しい補助金モデルを試験する未来の夢試験段階を開始。

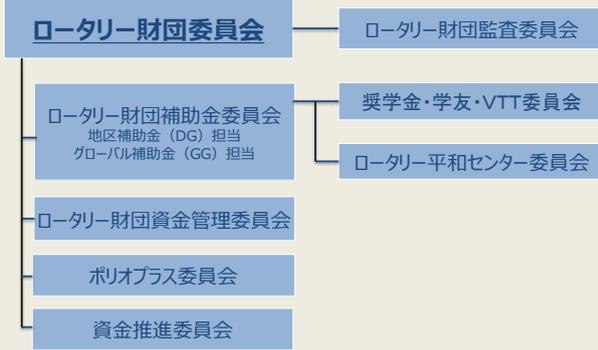
2012 年 / 2009 年に始まったゲイツ財団の 2 億ドルチャレンジに対してロータリーが目標額を上回る 2 億 2,800 万ドルの募金に成功。1 年間ポリオ無発症を達成したインドが、ポリオ常在国のリストから除外される。

2013 年 / ロータリーがポリオ撲滅のために集めた資金に対して、ゲイツ財団が 2 倍額を上乘せすることを発表 (5 年間、年間 3,500 万ドルまでの寄付が対象) **新しい補助金モデルが全世界に導入される。**

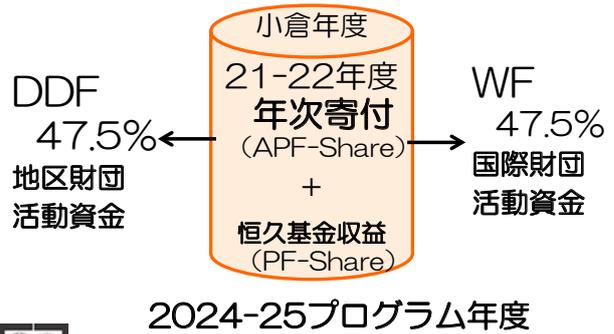
2014 年 / 東南アジア地域のポリオフリーが宣言される。

2017 年 / **ロータリー財団 100 周年。**

第2590地区ロータリー財団組織図



シェア・システム



重点分野 (Areas of Focus)

- ① 平和と紛争予防・紛争解決
- ② 疾病予防と治療
- ③ 母子の保健
- ④ 水と衛生設備
- ⑤ 基礎教育と識字率向上
- ⑥ 経済開発と地域開発
- ⑦ 環境の保護

国際的な社会奉仕活動や地域での社会奉仕活動
 ・国際親善を兼ねた奨学生の派遣
 ・専門職業分野で海外での技術指導や受け入れ
 ・国際的な平和構築の為の人材育成

幅広いプログラムの実行・実現へのお手伝いをしております。

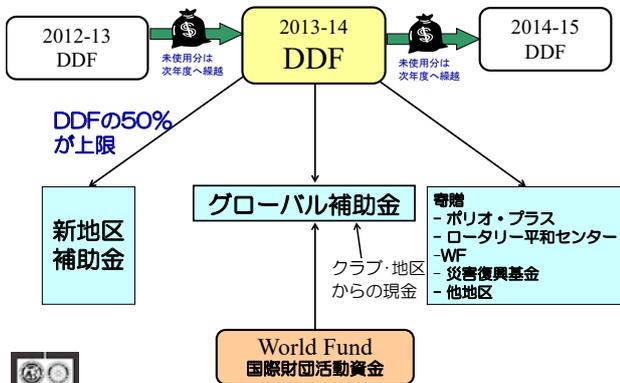
2010年12月24日 内閣府より公益財団法人としての認定 (ロータリー日本財団)
 ※ロータリー財団への寄付者に対する税制上の優遇措置を得ることが可能に。

ロータリー財団資金の分配 (志村年度)

2022-2023年志村年度 ロータリー財団地区活動資金 (DDF) 配分実績

項目		利用可能なDDF	配分額
収入	年次基金 (シェア) 寄付の50% (前村年度2019-20年度)	176,093.53	
	恒久基金 (シェア) の使用可能な収益の50%	65,824.21	
	前年度からの繰り越し (2021-22年度)	31,397.63	
	DDF基金 (2021-23年度 地区補助金対象プロジェクト)	5,580.53	
	DDF基金 (2022-23年度 地区補助金対象プロジェクト)	3,387.64	
合計	282,283.54		
支出	寄贈: パキスタン災害支援		3,570.00
	寄贈: 平和フェロー		25,000.00
	寄贈: ポリオプラス		5,000.00
	地区補助金対象プロジェクト (22クラブ・地区奨学生3名)		121,253.00
	グローバル奨学生 (3名)		69,445.00
合計		215,268.00	
次年度への繰越額			67,015.54

DDFの使途 (2013~)



ロータリー財団資金の分配 (樋口年度)

2023-2024年樋口年度 ロータリー財団地区活動資金 (DDF) 配分実績

項目		利用可能なDDF	配分額
収入	年次基金 (シェア) 寄付の50% (前村年度2020-21年度)	177,609.97	
	恒久基金 (シェア) の使用可能な収益の50%	62,743.96	
	前年度からの繰り越し (2022-23年度)	67,015.24	
	合計	307,379.17	
支出	寄贈: モロッコ災害支援		10,000.00
	寄贈: 平和フェロー		25,000.00
	寄贈: ポリオプラス		5,000.00
	地区補助金対象プロジェクト (21クラブ・地区奨学生3名)		121,717.00
	グローバル奨学生 (2名)		28,890.00
合計		200,607.00	
次年度への繰越額			106,763.17

グローバル補助金

- 7つの重点分野に該当
- 2国間以上のクラブ/地区で実施
- 持続の可能性
- 財団からの最低授与額15,000ドル

奨学金の場合、さらに

- 海外の大学院レベルに留学 (1-4年)
- 申請書提出時に入学許可の証明を提出
- 90日前までに申請書の提出が必要 (奨学金、VTTなど海外渡航を含む場合)



© Rotary International

ロータリー財団資金の利用度合い

皆様から集められた寄付金の**89%**が慈善事業のプログラムとして使用されております。
 ロータリー財団の一般管理運営費・寄付推進の為の資金は11%でその割合は他の財団と比較しても特筆すべきものであり、チャリティーナビゲーター(奉仕団体の格付け団体)からも14年連続で4つ星の最高評価を頂いております。